

第47回 大阪府消費者研究発表大会 発表テーマ・概要

○発表概要は、府内の消費者団体が暮らしの中のさまざまな問題に、自主的・主体的に取り組み、独自の調査・活動によりまとめたものです。

〔くらしの問題あれこれ〕

① NPO法人 消費者情報ネット 生損保研究会ぐるーぷ31	
テーマ	クレジットカードに付帯する旅行保険の問題点
旅行先でのケガや病気、携帯品の破損などに備える旅行保険。クレジットカードに付帯されていることも多く、海外旅行に際してもカード付帯の保険で十分と考える消費者も多いようです。しかし実際は、補償額が低くて医療費をカバーできなかったり、旅行代金をカードで払わないと保障されなかったりと、思わぬトラブルも発生しています。こうしたカード付帯の旅行保険の問題点について発表します。	
② NPO法人 関西消費者連合会・八尾市消費問題研究会	
テーマ	子どもを取り巻く環境～通学路&ケータイ・インターネット～
長年、子どもの問題を追及しています。平成24年4月、登校中の児童の列に車が突っ込み、痛ましい事故が発生しました。その後も事故が絶えることがありません。また、一方で昭和37年から開設している消費者相談窓口にも子どもが当事者となるケータイ電話やインターネット利用のトラブルが増加しています。子どもの安全が脅かされています。子どもの安心安全の生活環境を求めて、通学路やケータイ・インターネットについて発表します。	
③ 全大阪消費者団体連絡会	
テーマ	2012年府内市町村消費者行政調査から見てきたこと
国が地方消費者行政を集中強化するとして「3年程度」の期間が経過し、活性化基金の利用も今年度で終了します。大阪府内の市町村でのこの間の到達点と今後の課題について、独自調査の結果に基づいて発表します。	
④ NPO法人 消費者支援機構関西	
テーマ	ペニーオークション運営事業者に対する差止請求
当団体は、内閣総理大臣より認定を受けた適格消費者団体です。消費者契約法・景品表示法・特別商取引法に違反する事業者の不当行為に対し、消費者を代表し差止請求を行うのが、当団体の任務です。数千円～数十万円の商品が数十円～数千円で落札できるという、「ペニーオークション」というサービスに関し、景品表示法違反の疑義があり、運営事業者に対し差止請求を行い撤退させました。その手口と悪質性を中心に顛末を発表します。	
⑤ 茨木市消費者協会	
テーマ	「防災について」意識調査～アンケート結果より
東日本大震災以後、私たちの生活感が一変したように思います。国の施策のもとに稼働してきた原子力発電所の事故、近年急激に悪化する天候と大規模災害、また、くり返し報道される巨大地震発生予測等は危機感を一層強めています。しかし自治体の防災対策も地理的条件の違いによって各々まちまちで、一人ひとりの受け止め方も個人差が大きいように思います。このような時期にアンケートを実施し、問題点を明確にして発表します。	
⑥ 岸和田市消費生活研究会	
テーマ	ごみはどこへゆく～混ぜればごみ 分ければ資源～
私達が今持っているものはいつかは「ごみ」になります。毎日のように出るごみをどのようにすれば少なくできるのか。岸和田市のごみ行政の現状とごみに対する市民の意識調査から、望ましいあり方をさぐり発表します。	
⑦ 高槻市消費者団体連絡会	
テーマ	悪質商法撃退 ～だまされヘン！～
悪質商法は、人の弱みに付け込み、商品を不当な値段で売りつけます。お金を騙されたことに気付かない、被害にあっても誰にも相談しない人も多く、被害額が年々増加してきているようです。私たちも生活者として、未然防止に取り組み、クーリング・オフの勉強もし、いち早い情報を取り入れて、出来る事を考え、活動しています。今回はアンケートの結果をまとめ分析して、発表します。	

⑧とよなか消費者協会	
テーマ	上手に利用しよう！ 通信販売
インターネット・電話・カタログ等24時間自宅にいながら買い物ができる「通信販売」は急速に伸びている販売形態ですが、販売方法や解約・品質・機能面でのトラブルの増加も顕著です。「通信販売」は、「クーリング・オフ」制度が適用されないことを踏まえ、賢く利用する情報を発表します。	
⑨ 大阪府消費生活リーダー会	
テーマ	「くらしのナビゲーター」の活動から
当会会員の多くが「くらしのナビゲーター」として大阪府内で高齢者消費者被害防止の情報提供を行っています。当会によるレベルアップのための勉強会や、チームによる楽しい講演への取り組みなどを紹介します。また、「くらしのナビゲーター」活動の現状を、会員および府内消費生活担当窓口を対象にアンケート調査し、結果を発表します。	
⑩ きんきビジョンサポート	
テーマ	あなたのひと声がユニバーサルなまちをつくるⅡ～危険が潜む交通機関～
毎年、駅ホームから転落し、大けがをしたり死亡したりといった事故が起きています。一見、安全に見えても、多くの人が利用する交通機関には、多くの危険が潜み、思いがけない事故が起こります。特に、見えない・見えにくい人にとっては危険がいっぱいです。そんな危険も、あなたの一声で避けられるかもしれません。どんなときにどんな声かけが役立つのでしょうか。鉄道会社の安全対策は？みんなの駅の安全・安心について発表します。	

〔環境問題〕

⑪ 安全食品連絡会	
テーマ	電磁波の危険性と基地局の健康影響（その4）
今、街中を見渡せば、スマホや携帯電話を使用している人で溢れています。そのため通信基地局が、屋外ばかりか屋内まで増加して、基地局周辺の住人から体調に異変を感じる人が出ていますとして訴訟にもなっている例があります。電磁波による健康影響を避けるべく事前に、基地局設置の説明会をメーカーに義務づける活動など発表します。	
⑫ NPO法人 日本主婦連合会	
テーマ	「ゴミを出さない」「空気を汚さない」「使い捨てしない」
私たちは、20年近く環境問題に取り組み、地球温暖化、公害問題、ごみ処理など生活の中で生じた問題に対し研修や勉強会など、主婦の立場から積極的に参加しています。その一環として平成7年より「リサイクル運動」を展開し、家具や衣類、日用品その他、廃棄物の再利用を考え、工夫や努力を重ね、数多くの手作り再生品の展覧会を開催しています。社会の環境や再生の促進を願い、環境問題について、発表します。	
⑬ NPO法人住宅長期保証支援センター	
テーマ	省エネの住まい方とエコ住宅を考える
いま地球温暖化の防止や原子力発電稼働について議論が続き、省エネ意識が高まる中、国土交通省は、平成32年までに新築住宅の省エネ新基準適合率 100%を目指すと発表しました。これからの住宅は、ますます省エネを求められ、私達は更に「地球にやさしく快適な暮らし」を求めていくことになります。当支援センターは省エネの住まい方とエコ住宅について調査し、これからの住宅の省エネルギーについて発表します。	
⑭ 東大阪市消費者団体協議会	
テーマ	大気汚染測定から生活環境を見直す
東大阪市には、生駒喘息がある事を知り、私たちの手で調査しようと、取り組んだのが、大気汚染調査です。平成元年から、平成23年までの夏と冬、年2回の測定を実施して来ました。集計してみてわかった事は緑地帯は数値が低く、車の多い幹線道路は、数値が高いことです。色々な視点から学んだ事を発表します。	
日本消費者連盟関西グループ	
テーマ	これからどうなる？ 日本の原子力発電
2011年3月11日の東日本大震災による福島原発の苛酷な事故によって、原発は人知の及ぶものではないことを実感しました。2012年夏、国が実施したパブリックコメントでは、8万9124件の意見が全国から寄せられ、「即原発ゼロ」が81%を超えました。それなのに電力会社、政財界は大飯原発を手始めに、次々に再稼働させようとしています。そこで、今年は廃炉と使用済み核燃料の問題に絞って調べ、発表します。	

〔食に関する問題〕

⑩ 吹田市消費者団体協議会	
テーマ	食はいのち パート2
地産地消を求め昨年度より「食の安全」について調査してきました。吹田市にも、「少しでも安全な野菜を」と頑張っている農家があります。伝統野菜「吹田くわい」を伝承したいと努力している農家と小学校の取り組み。地元のエコ農産物を使っているパン屋、レストランとのつながり。食品表示の問題も入れて発表します。	

〔誌上発表〕

⑪ かわちながの消費者協会	
テーマ	化粧石けんの成分表示について
旧「茶のしずく石けん」を使用した消費者が被害に遭われたことがきっかけとなり、会員の各家庭にある「化粧石けん」を持ちより、市販の「化粧石けん」と併せて、それぞれの成分表示について調べました。その調査結果について発表します。	